

**北摂・吹田ローカルで手づくりな、飲食店出店を大募集！**  
**商店街再生「吹田・アサヒキッチン プロジェクトver.2」区画内覧会を実施します。**

大阪駅から電車で9分。人口約38万人の吹田市。その玄関口の1つ、JR吹田駅周辺を「吹田のキッチン」＝北摂で美味しい食材と飲食店が集まる場所に「リ・ブランディング」するプロジェクトの新規出店者を大募集！

まずは、今から65年前に誕生した「新旭町通り(しんあさひまちどおり)商店街」の一部、約110mのアーケード区間を「吹田・アサヒキッチン」と名付けてリニューアルしました。その中でも特に、約50年前に誕生して生鮮食材を扱うお店が集まっていた「新旭町通食品街」(約90m)は、今も昭和の市場の香りが漂う場所。元気に営業を続けているお店と一緒に「昼は食品街、夜は飲食街」として、照明もレトロな雰囲気を残しつつ、新しくなりました。

昨年12月、地元の商店街(新旭町通り商店街協同組合)と事業者・専門家が集まって作ったプロジェクトチームが、意欲ある出店希望者を募集！「まぜそば専門店」「スパイスカレー店」「パスタ専門店」「ベトナム料理店」など先行店舗と合わせて9店舗(うち1店舗は工事前で来春オープン)が新たに集積、街の雰囲気を大きく変えつつある。

今回の募集区画は4区画(10㎡～40.0㎡)。第二弾では、カウンターや厨房機器の備え付けなど「7割仕上げ」された店舗区画を含み、食品販売や飲食店の新規事業者や起業者向き。ハンドメイド雑貨店やブックカフェ向きの店舗区画もある。希望者は企画書(エントリーシート)を提出して頂き、相談の上で随時出店店舗を決定します。

そして、このたびはプロジェクトメンバー同席案内による「区画内覧会」を実施。1回目は令和6年12月14日(土)11時から18時まで、2回目は12月18日(水)11時から16時まで。見学者特典として、アサヒキッチン内店舗で使える500円クーポン付き。全区画のオープン、令和7年夏頃を目指しています。

昭和の時代に栄えた街の商店街で、令和の時代にも「吹田の美味しい！」を創っていきます。

※新旭町通り商店街は、戦後の露天商の集まりを由来とし、昭和33年に商店街組合を設立。その際に旭町交差点を挟んで、主に衣料品店を吹田駅側に、食料品店を神崎川側に集めた。アーケードは昭和40年代に整備された、とされている。

.....



■空き区画の多かった「新旭町通食品街」の区画

■再生中の「吹田・アサヒキッチン」(照明デザイン+新規店立地)



○主催・取材対応・店舗区画見学やエントリーなど、問い合わせ先  
吹田まちづくり合同会社 [suita.machizukuri@gmail.com](mailto:suita.machizukuri@gmail.com)  
090-1898-9973 (生田)



## ○これまでの取り組みの説明(詳細)

### 1)吹田の商業活性化とまちづくりの取り組み

JR 吹田駅の南側は約 500m 四方に、小規模の業務・商業・住宅が密集しているエリア。そのエリアにある5つの商店街の店舗数は、合計300店舗ほど(2021年)。組合加盟以外の店舗も約50店舗=合計約350店舗が集まる。現在、その半数以上が食品製造・販売店と飲食店で、近年は夜にも営業する飲食店も増えつつあるところ。この地区の飲食シーンを盛り上げようと、地元事業者・事業者の有志は平成25年度より毎年、JR吹田駅周辺の飲食店の「はしご酒」をしながら、飲食店舗の魅力を伝えるイベント「吹田バル」を開催。また、JR吹田駅前広場を主会場に、ハンドメイド作家を中心とする手づくりの小規模店舗が参加する定期マルシェイベント「ビレッジマート吹田」を令和元年5月より毎月開催。このエリアの魅力や変化の兆しを伝えてきました。

### 2)取り組みの実施経緯

吹田の商店街エリアは、緑とナチュラルな「北摂」のイメージとは異なりますが、100年を超える「街」としての香りが色濃く残る、北摂の他にはないエリアだという魅力があります。そこで今回の事業は、このエリアを吹田の美味しいが集まる【吹田のキッチン】と位置づけて魅力を発信しつつ、商業地としての魅力を地元の事業者自らが創造していくことが大切と考えました。令和4年8月ごろから、新旭町通り商店街を最初の取り組み場所とし、地元有志の4者で一部空き店舗の借り上げを実施。新まちづくり事業会社「吹田まちづくり合同会社」を令和5年5月に設立して、本格的に取り組みを開始した。食材や飲食がテーマの定期マーケットや商店街参加型バルなど、イベントや地元ローカル広報PRを展開しつつ、起業や創業支援等により新規飲食店を空き店舗の多い商店街へ誘致・集積。市場(いちば)の魅力もさながらな場所を始めに、商店街活性化を目指しています。

吹田市の旧市街は、大正時代に JR 吹田駅が現在地に移転したことから商業地として発展。現在に至るまでアーケード型の商店街が集積する場所となっている。また周辺の住宅地も昭和初期から都市化の影響を受けて集積し、高度成長から平成にかけて集合住宅が点在するエリアとなった。商業地としては、北摂の一般的なイメージと異なり、物販店や食品店に加え、スーパーや飲食に至るまで地元根ざした商店による個店の集積が見られ、いわゆる商店街の風景を日常に残している。特に当該商店街においては、「食品街」と名前が残る食品品の販売店集積の名残が色濃く、「狭くて暗い」が「ヒューマンスケール」「横丁の界限性」という点において、広域イメージとのギャップがあり、オリジナリティを発揮できる活かすべき素材と考えている。

「手づくり」「手仕事」「目利き」  
商店街と食品街の歴史を踏まえた、良い食材と温かみのある飲食店が集まる  
**「吹田のキッチン」**

※イメージ参考 神戸・湊川市場の路面型店舗「湊川大食堂」(左)とシンガポールのアーケード屋台「ホーカーズ」(中・右)



アーケードの下に、小さくも個性的な飲食や物販ブースが並ぶイメージ。  
※「湊川大食堂」は、湊川市場の約30店舗から仕入れられた素材に一手間加えた料理が並ぶ。  
電飾看板を標準化して壁につけ、昼間も明るくするとともに、夜は路面を塞がない程度に店から活気が滲み出す演出を行う。

### 3)これまでの取り組み(具体的な内容)

#### ①飲食店街「吹田・アサヒキッチン」への出店募集・支援

新旭町通り商店街・食品街付近の空き店舗区画へ出店者を公募します。

元々、食料品加工・販売店が多い場所だったことから、飲食店舗を出店するための必要なインフラ(ガス・給排水・換気等)が不足。そのため、当社が区画を持主から借り上げつつ、インフラ設置工事(いわゆるA工事)を実施して貸し出し。出店内定者へは、スタートアップ支援も兼ね、地元商店街・商店と連携して店舗からの食材仕入れを紹介。設計や工事、メニューづくりなどの出店準備のサポートを行いました。

出店した主な店舗は、下記の通り。

##### ■人類みなませそば(麺類)

行列NO.1「人類みな麺類」初のませそば専門店を地元人材が立ち上げ



##### ■ベトナムサンドイッチTRON(ベトナム料理)

ベトナム人の若者が起業。現地・ホーチミンの味を楽しめる



##### ■スパイスキッチン結(スパイスカレー)

身体が喜ぶスパイスの魅力を味わえる。脱サラし、家族でチャレンジ!



##### ■サイドビー(パスタ)

キッチンカーから再起業! おうち風パスタをお店流にアレンジ



そのほか、みずいる喫茶(レトロ風喫茶店)、nasaran(バル)、フェアトレード&エシカルkibi、ポテ太郎(芋スイーツ)が営業中。タイ屋台料理・Tule Kitchenが来春開店に向けて準備中です。

#### ②新旭町通食品街リニューアル(照明・サイン設置)

新旭町通食品街の歴史と魅力を踏まえつつ、

「吹田・アサヒキッチン」としてリスタートするため、ライティングデザインにより、イメージを一新。

- ・商店街入口にLEDネオンサインと間接照明看板サインを設置
- ・店舗用の内照式看板付け出し照明、ペンダント型(吊り下げ型)通路照明を設置

◆商店街アーケード内照明案

吹田アサヒキッチンプロジェクト

##### 照明改修の考え方

新旭町通食品街の歴史性を最大限に活かす照明  
『あれこれごちゃごちゃしたあかり』でこの通りの持つ「特別感・ヒューマンな魅力」を再現。  
全体に暖かな電球色の照明とし、点在するあかりでの陰影のある空間をめざす。  
内照式看板は、電球色LEDに変更し昼間も、ディスプレイや木製の看板に実装するものを提案させる。



③ 「吹田・アサヒキッチンmarket」の開催

「新旭町通食品街」周辺において、毎月第3土曜日にプチマーケットを開催(令和6年3月まで)。ハンドメイドと雑貨屋おしゃれ服・手づくり食品が集まる。新店舗開店と合わせて、楽しい企画に。



④ 「アサヒキッチン・バル」の開催

「新旭町通食品街」を主会場とし、飲食イベントとして常設の再来店につながる効果が高いと評価が定着しているバル形式のイベントを実施。令和6年3月1・2・3日に開催。



⑤ 「吹田のキッチン」 広報PRプロジェクト

吹田の商店街エリアを「吹田のキッチン」とのエリアブランディングを行い、「吹田ファン」を増やしていく取り組みとして、①～④の取り組みと連動しながら、下記のことを実施しました。

「アサヒキッチンらへんMAP」の作成配布  
 Googleマップへの飲食店等一斉情報掲載  
 SNSを活用した情報拡散 など



○今回の取り組みについて(詳細)

## 1)アサヒキッチンプロジェクトver.2 「アサヒキッチン」への出店募集・支援

新旭町通り商店街・食品街付近の4つの空き店舗区画へ出店者を公募します。

引き続き、当社が区画を持主から借り上げつつ、インフラ設置工事(いわゆるA工事)を実施して貸し出します。今回は、店舗集積のバリエーション多様化とスタートアップ支援も兼ね、小規模区画ではカウンターや一部厨房機器の設置まで行った「7割仕上げ区画」や飲食店以外の店舗立地ができる区画なども募集します。

出店応募に関する主な項目については、下記の通り。(詳細は2に記載)

【出店対象業種】 飲食店・食品加工販売(テイクアウト店)、創作雑貨店(小規模カフェ併設可)など

【募集区画サイズ】 1区画の最小が10.3㎡、最大が40㎡ 合計4区画

【家賃等】 1区画4万円~10万円/月(消費税・共益費等 別途費用あり)

【応募方法】 問い合わせの上、内覧会に参加後、店舗概要を書いた「エントリーシート」を提出(フォーマット送付)

【店舗募集期間】 現在~令和6年1月下旬締め切り予定(毎週締め切り、先着順で選考)

【開業予定】 令和6年春~夏までに随時開店(開店日相談可)

## 2)出店店舗募集内容

出店者募集チラシ裏面 募集概要を参照ください



### アサヒキッチンの募集スペース

#### エリアマップ AREA MAP

● 募集スペース ● アサヒキッチン加盟店舗  
募集区画数: 4 (10.3㎡~40.0㎡)

**E・H区画**  
H区画 24.8㎡  
E区画 40㎡  
土間  
商店街側シッター

**B区画**  
10.8㎡

**G区画**  
10.26㎡

新旭町通り商店街

スパイスキッチン 結 (スパイスカレー) ● nasaran ● みずいる喫茶 ● 元町カレー ● 松ちゃん食堂 ● ぼて太郎 ● 人類みなませそば ● kibi ● グーチョキバン屋さん ● トゥーレキッチン (タイ料理) ● 三兄鮮魚店 ● サイドビー (パスタ) ● 松月堂 ● エルドラド ● 倉田食品 ● TRON (パンミー) ● 若鶏の店まるみや ● 森山商店 ● 安田商店

● 基本は、お昼も夜もやってくれる飲食店を募集します。(H区画は例外)  
(お昼は、16時からのハッピータイム営業でも可)  
● 出店ご希望の際はエントリーシート提出の上、面談させていただきます。  
● 店舗設計・デザイン・施工の相談もお受けいたします。  
● 家賃は、月40,000~100,000円(税別・商店街費、アーケード費、ゴミ処理代、会費別)  
● 定期借家契約(5年/更新は個別協議)  
● 預り金として家賃3か月分は退店時に返還(各店舗条件あり)  
● その他諸条件は、店舗によって異なりますので内覧会で説明させていただきます。

事前予約制 (平日受付可)  
アサヒキッチン  
貸出スペース  
内覧会  
新旭町通り商店街内アサヒキッチン  
(大阪府吹田市内本町2-1-23)

内覧会の日程一覧  
12.14 ①11:00-18:00 / 12.18 ①11:00-16:00

吹田・アサヒキッチン 新規募集スペース内覧会開催!  
吹田・アサヒキッチンの新しい区画を見に来ませんか。  
70%仕上りの長期飲食店向けレンタルスペースや新旭通り食品街では広めのスペースなど  
まだ工事中などではありますが、実際のスペースを見に来ませんか。

見学者特典  
アサヒキッチン内で使える  
500円分クーポンをプレゼント!  
使用可能店舗一覧  
みずいる喫茶 / カジュアルキッチン nasaran / スパイスキッチン結 / ぼて太郎 / 人類みなませそば / Pasta Stand サイドビー / フェアトレードエンカレッジショップ「kibi」 / TRON

お問い合わせ/見学予約のお申し込み  
@suitsu\_machizukuri@gmail.com  
090-1898-9973  
(担当: 生田)

公式Instagram  
アサヒキッチンの最新情報はInstagramで発信中!  
@suitsu\_asahikitchen

【参考】「吹田・アサヒキッチン」エリアにある、従来既存の食品・飲食店舗紹介

1-豆腐・こんにやく 倉田食品

40年以上、吹田で手づくりの豆腐を作り続けているお店。  
名物は大豆の風味が強く、コシのある「嵯峨豆腐」で、  
「ところてん」など、季節のオリジナル食材も嬉しい。



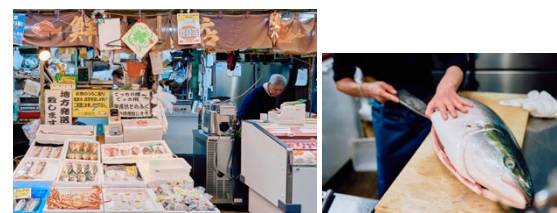
2-和菓子・松月堂

創業60年以上の老舗。  
定番と季節の手づくり和菓子は餅米の美味さが際立つ。  
お赤飯も通年販売されていて、大人気商品です。



3-三兄鮮魚店

毎朝、漁港から直接仕入れる旬の魚が並ぶ。  
日毎に違う魚が並び、飽きずに買い物できるのが魅力。  
お造りなど、要望すれば調理や下処理してもらえます！



4-安田商店

自家製・本場仕込みのキムチが大評判！  
定番の白菜や山芋などは、売り切れ必至です。  
少量量り売りしてくれるのも、食品街ならではの。



○データ

(事業名) ～大阪北摂・吹田のキッチンを創出～ 「吹田アサヒキッチン」プロジェクト

(事業概要) 大阪駅から電車 10 分。人口約 38 万人の吹田市。 商店街集積地・JR 吹田駅周辺を「吹田のキッチン」=北摂(大阪府北東部)で美味しい食材と飲食店が集まる場所に「リ・ブランディング」する。

当事業では、食材や飲食がテーマの定期マーケットや商店街参加型バルを展開して消費創出を行いつつ、起業支援等により新規飲食店を空き店舗の多い商店街へ集積。地元商店主や事業者により設立された民間事業会社「吹田まちづくり合同会社」が中心となり、事業地にある「新旭町通り商店街協同組合」と連携し、商店街活性化を目指す。